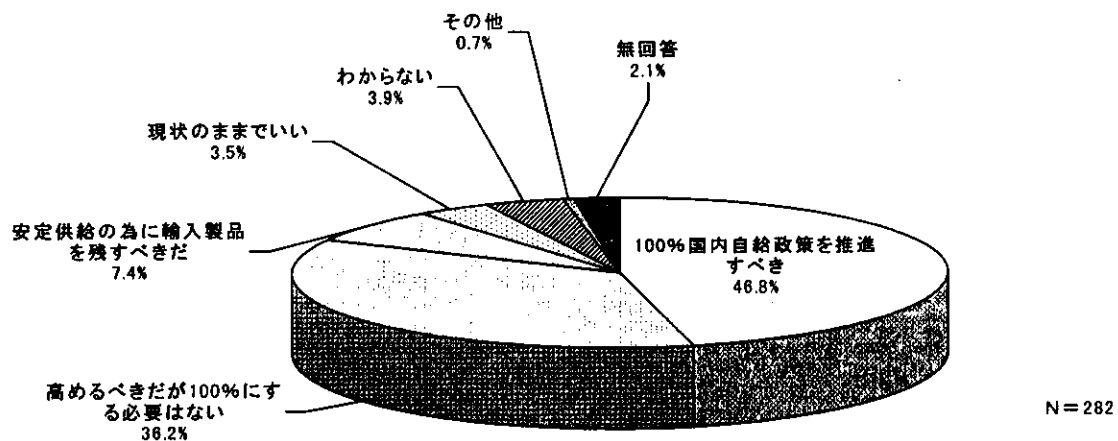


質問 11. 厚生労働省が血漿分画製剤の安全性、安定供給を目的に100%国内自給にする方針を打ち出したことに対する意見(SA)

100%国内自給を目指すという厚生労働省の姿勢に対しては、「100%国内自給政策を推進すべきだ」が全体の 46.8%を占めて最も多く、次いで「国内自給は現在より高めるべきだが、100%国内自給にする必要はないが」36.2%となった。

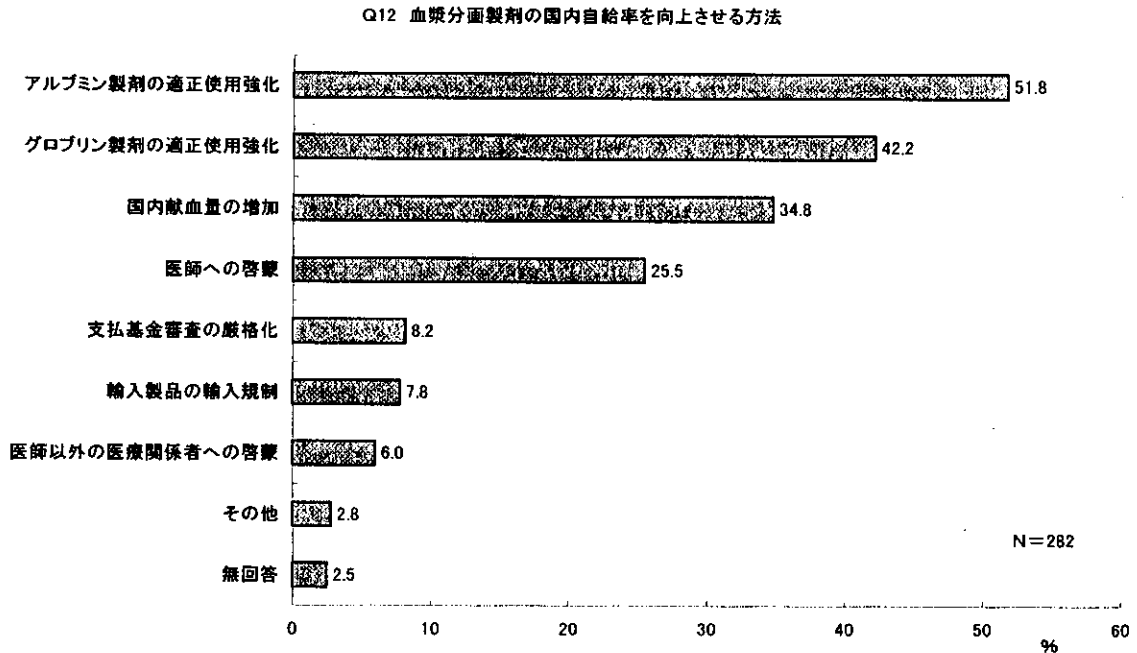
また、これを総使用量別とクロスして見ると、1,000g以上使用する診療科を100%とした場合では、「100%国内自給政策を推進すべきだ」が全体の43.1%を占めて最も多く、次いで「国内自給は現在より高めるべきだが、100%国内自給にする必要はないが」36.2%となった。

Q11 血漿分画製剤の100%国内自給について

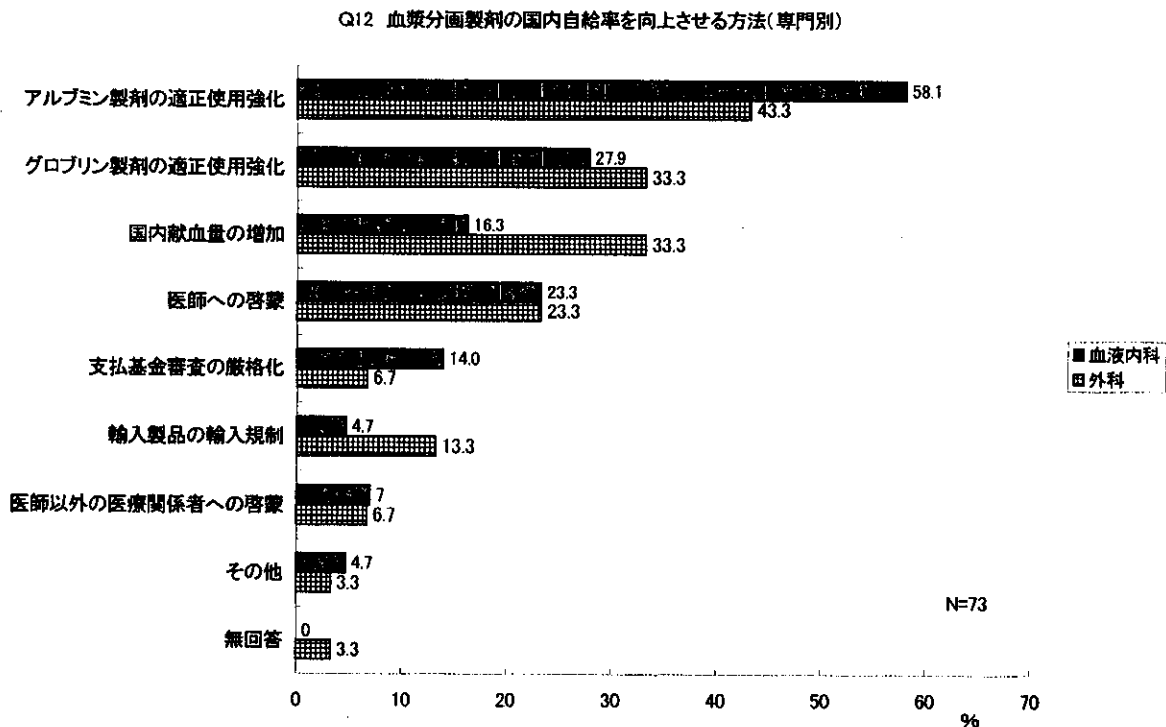


質問 12. 血漿分画製剤の国内自給率を向上させるための最も適切な方法(MA)

血漿分画製剤 100%国内自給に向けて、自給率を向上させる最も適切な方法としては、「アルブミン製剤の適正使用強化」が全体の 51.8%を占めて最も多く、次いで「グロブリン製剤の適正使用強化」が同 42.2%、「国内献血量の増加」が同 34.8%、「医師への啓蒙」が同 25.5%、の順となった。



また、これを専門別とクロスして見ると、血液内科の場合は、「アルブミン製剤の適正使用強化」が全体の 58.1%を占めて最も多く、次いで「グロブリン製剤の適正使用強化」が同 27.9%、「医師への啓蒙」が同 23.3%、の順となった。それに対して外科の場合は、「アルブミン製剤の適正使用強化」が全体の 43.3%を占めて最も多く、次いで「国内献血量の増加」と「グロブリン製剤の適正使用強化」が同 33.3%の順となった。







### 5年後の使用量変化の理由

1. 適応患者数が増加することが予想されるから
2. 適応患者数が減少することが予想されるから
3. 適応拡大が行われる可能性があるから
4. リコンビナント製剤が上市されることが予想されるから
5. 適正使用が強化することが予想されるから
6. 病院の方針
7. 支払い基金の対応
8. 治療方法の変化
9. その他

( )

### 10年後の使用量

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 1～5% 増   | 6. 1～5% 減   | 11. 変化がない |
| 2. 6～10% 増  | 7. 6～10% 減  | 12. わからない |
| 3. 11～15% 増 | 8. 11～15% 減 |           |
| 4. 16～20% 増 | 9. 16～20% 減 |           |
| 5. ( ) % 増  | 10. ( ) % 減 |           |

### 10年後の使用量変化の理由

1. 適応患者数が増加することが予想されるから
2. 適応患者数が減少することが予想されるから
3. 適応拡大が行われる可能性があるから
4. リコンビナント製剤が上市されることが予想されるから
5. 適正使用が強化することが予想されるから
6. 病院の方針
7. 支払い基金の対応
8. 治療方法の変化
9. その他

( )

質問 8. 先生は今後、リコンビナント製剤が上市された場合、どのような使用意向をお持ちですか。該当する番号を○で囲んでください。

1. 使用するつもりはない
2. 薬価が安ければ、積極的に使用したい
3. ある程度、リコンビナント製剤を使用することにしたい
4. 段階的にリコンビナント製剤を使用することにしたい
5. すべてをリコンビナント製剤に転換していきたい
6. 変化しない

7. わからない

8. その他

( )

以下では血漿分画製剤全体につきましてご質問いたします

**質問 9. 厚生労働省が血漿分画製剤の安全性、安定供給を目的に 100%国内自給にする方針を打ち出しましたが、先生はどのようなご意見をお持ちですか。該当する番号を○で囲んでください。**

1. 100%国内自給政策を推進すべきだ

2. 国内自給は現在より高めるべきだが、100%国内自給にする必要はない

3. 現状のままでいい

4. 安定供給のためには、輸入製品を残すべきだ

5. わからない

6. その他

( )

**質問 10. 先生は、血漿分画製剤の国内自給率を向上させるためには、どのような方法が最も適切であるとお考えですか。該当する番号を○で囲んでください。**

1. アルブミン製剤の適正使用強化

2. グロブリン製剤の適正使用強化

3. 支払い基金審査の厳格化

4. 輸入製品の輸入規制

5. 国内献血量の増加

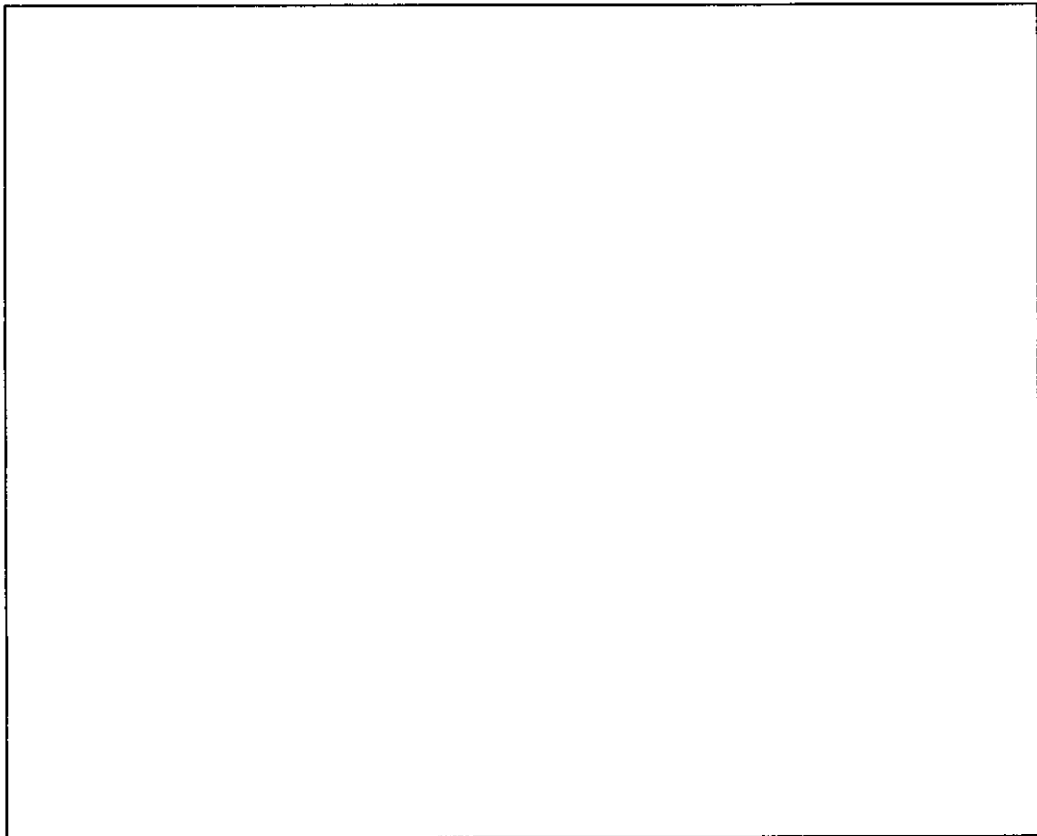
6. 医師への啓蒙

7. 医師以外の医療関係者への啓蒙

8. その他

( )

質問 11. 先生は、血漿分画製剤の安定供給や国内自給率のアップや適正使用等につきまして、何かご意見がありましたらお聞かせください。







資料 7.

免疫グロブリン製剤についてのアンケート質問項目

質問 1. 貴診療科で平成 12 年度(平成 12 年 4 月～平成 13 年 3 月)に使用された静注免疫グロブリン製剤(以下グロブリン製剤)の量をお教えてください。以下の括弧内に該当する数字をご記入ください。

2.5 g 50 mL ..... ( ) 本  
( ) g ( ) mL ..... ( ) 本  
( ) g ( ) mL ..... ( ) 本

質問 2. 貴診療科では、主にどのような疾患患者にグロブリン製剤を使用されておりますでしょうか。該当する疾患名の括弧内に多く使用される順に 1～3 まで数字をご記入ください。

- ( ) 低または無ガンマグロブリン血症
- ( ) 重症感染症における抗生物質との併用
- ( ) ギラン・バレー症候群
- ( ) CIDP
- ( ) 川崎病の急性期
- ( ) 特発性血小板減少性紫斑病
- ( ) その他  
( )

質問 3. 貴診療科での昨年 1 年間(平成 12 年)と一昨年(平成 11 年)のグロブリン製剤の使用量を比較するとどのようになりましたでしょうか。該当する番号を○で囲んでください。

- 5. 増加した ..... 質問 4 へお進みください
- 6. 減少した ..... 質問 5 へお進みください
- 7. 前年とほぼ同じ ..... 質問 6 へお進みください
- 8. わからない ..... 質問 6 へお進みください

質問 4. 質問 3 でご記入いただきました貴診療科でのグロブリン製剤の使用量が一昨年より増加した理由につきまして該当する番号を○で囲んでください。

増加した理由

- 1. 適応患者数が増加した
- 2. 特定の患者に多く使用するような状況になったから
- 3. わからない
- 4. その他 ( )

どの程度増加しましたか(年間)

- 1. 1 ～5% 増
- 2. 6 ～10% 増



7. 治療方法の変化

8. その他

( )

**10年後の使用量**

1. 1～5%増

6. 1～5%減

11. 変化がない

2. 6～10%増

7. 6～10%減

12. わからない

3. 11～15%増

8. 11～15%減

4. 16～20%増

9. 16～20%減

5. ( )%増

10. ( )%減

**10年後の使用量変化の理由**

1. 適応患者数が増加することが予想されるから

2. 適応患者数が減少することが予想されるから

3. 適応拡大が行われる可能性があるから

4. 適正使用が強化することが予想されるから

5. 病院の方針

6. 支払い基金の対応

7. 治療方法の変化

8. その他

( )

**質問 7. 先生は、グロブリン製剤の適応拡大についてどのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を○で囲んでください。**

1. 特定の疾患については、適応拡大が必要である

2. 適応拡大は特に必要ない

3. わからない

4. その他

( )

**質問 8. 先生は、グロブリン製剤の適応拡大が行われれば需要量が変わるとお考えになられておりますか。該当する番号を○で囲んでください。**

1. 適応拡大が行われれば需要は増加する ..... 質問 9 へお進みください

2. 適応拡大が行われても需要は増加しない ..... 質問 10 へお進みください

3. わからない ..... 質問 10 へお進みください

4. その他 ..... 質問 10 へお進みください

( )



質問 12. 先生は、血漿分画製剤の国内自給率を向上させるためには、どのような方法が最も適切であるとお考えですか。該当する番号を○で囲んでください。

1. アルブミン製剤の適正使用強化
2. グロブリン製剤の適正使用強化
3. 支払い基金審査の厳格化
4. 輸入製品の輸入規制
5. 国内献血量の増加
6. 医師への啓蒙
7. 医師以外の医療関係者への啓蒙
8. その他

( )

質問 13. 先生は、血漿分画製剤の安定供給や国内自給率のアップや適正使用等につきまして、何かご意見がありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。統計処理のため、下記項目をご記入下さい。

I. 貴院の経営形態

2. 大学病院	2. 医療法人	3. 自治体病院	4. 国立病院
5. 社会保険関係団体	6. 日赤・済生会		
7. その他 ( )			

J. 貴院でご設置の診療科目

1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 脳外科	5. 産科
6. 婦人科	7. 小児科	8. 眼科	9. 耳鼻咽喉科	10. 精神神経科
11. その他 ( )				

K. 貴院の病床数 \_\_\_\_\_ 床

L. ご回答者のご年齢

1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代
--------	--------	--------	--------	--------	--------

M. 病院名

\_\_\_\_\_

N. ご専門

\_\_\_\_\_

O. ご連絡先 電話

ファックス

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

P. Eメールアドレス

\_\_\_\_\_

※アンケートへのご協力、ありがとうございました。